

PPPプラットフォーム意見交換会 実施結果概要

夢見ヶ崎動物公園の持続可能な管理運営手法の構築について考え方を整理するにあたり、次のとおり意見交換会を実施しましたので、結果を公表いたします。

- 1 **実施日** 令和5年2月13日（月）、2月16日（木）
- 2 **参加事業者** 全7者（建設業・運営管理業・コンサルタント業等）
- 3 **実施形式** 個別対話
- 4 **主な意見** 以下の通り

項目	事業者からの主な意見	
管理運営に関する意見	Park-PFI	・ Park-PFIは夢見ヶ崎動物公園には馴染まないと考えている。 ・ Park-PFIを導入するには立地的に20万人来ても厳しいのでは。リニューアルされて状況が大きく変われば異なるが、現状が閉鎖的な状況であるので難しい。 ・ いわゆるカフェ、レストランを導入するためには、公園全体の魅力を高めていく必要があり、難しい。 ・ 遊具を大きくするとか何か特徴ができ、さらに駐車場を大きくすることで収益を上げ、それでカフェが成り立つ場合もある。 ・ アクセス性など周辺状況を含めて改善が見込めないと、参入は難しい。 ・ 必ず飲食物販をやる必要はなく、来客が増えるような手法を取り入れたい。
	指定管理者制度	・ 駐車場以外の施設で収益を上げられないと、駐車場収益にしわ寄せがきて、公園全体の運営は厳しくなる。 ・ 動物を扱う業者が限られているので、入念なサウンディングにより指定管理者候補を探すことが必要ではないか。 ・ 飼育業務も指定管理業務に入れるとなると、市の委託金（指定管理料）で運営してもらうような形が想定される。 ・ サウンディングを実施し、複数業者が参入しやすい形の再整備計画を策定してほしい。 ・ 公園管理関係業種と飼育関係業種のコンソーシアムを立ち上げることとなる。 ・ 公園の場合、指定管理者の収益は、自動販売機、駐車場によるものが多い。 ・ 飼育業務を含め公園全体のマネジメントを希望する。 ・ 管理に加え、再整備から携わることで、魅力向上に関わりたい。 ・ 駐車場や飲食物販の収益が事業者に入るような、広報を行うことのインセンティブが働くようにしてほしい。 ・ 現状に慣れている飼育員は、指定管理者による管理に移行しても継続して携わってほしい。 ・ 業務の引継ぎは最低でも6カ月は欲しい。

項目	事業者からの主な意見	
管理運営に関する意見	その他管理運営に関すること	・駐車場の設置許可制度を使用してほしい。また、設置許可期間は5年以上が望ましい。 ・駐車場収益は天候に非常に左右される。駐車場収益の公園運営費への還元は期待できない。 ・獣医を多く抱えているのが強みではないか。エキゾチックアニマルや爬虫類、ミニアキットなどを見られる獣医が実際には少ない。獣医が6人いるならそういうサービスを活かしたら良いのでは。個人で飼っている動物を診てあげられる強みがある。 ・動物を見せるだけでなく、子どもの居場所をどうするか。さまざまな部署で連携していく必要がある。高齢福祉、教育との連携、不登校児の受入れなど。賑わいを作るという点ではこの考え方が重要ではないか。 ・教育関係の連携があってもよいのではないか。 ・クラウドファンディングをやるとしたら、特定の動物のお見合いプロジェクトみたいなものはどうか。支援した結果、繁殖した動物がいればリピーターの呼び込みになるのではないか。高齢動物の安らかな死を看取るなど、テーマによっては支援が集まるのではないか。 ・投資できるかという点、駐車場のスペース等を踏まえると厳しい。地元密着型のリピーターを作るのが方向性として好ましいと考えている。サポーターや企業の支援を募るイメージである。 ・知る人ぞ知る施設になっているため、ブランド戦略が重要である。

項目	事業者からの主な意見	
施設に関する意見	公園全般	・ スケボーパークやドッグランがあれば遠方からの来園呼び込みの仕掛けになる。 ・ 施設整備、運営にあたって、一貫したブランディングが必要と思われる。 ・ フォトスポットを作るなど、低予算で魅力的な施設を整備することが可能だと考える。 ・ ネーミングライツの導入・企業協賛も可能だと考える。 ・ スペース整備をしっかりとすれば、ヨガのイベント等の呼び込みも可能だと考える。 ・ わくわくする、没入感のある仕掛けが必要ではないか。 ・ アーバンスポーツなどは場所は問わない。近隣住民が近いと音や臭いで敬遠される。高台で隔離されたところでは事業者にとってはやりやすい。市としても合意形成を図りやすいのではないか。 ・ ネーミングライツについて、社会貢献、知名度を上げるために地元の企業のニーズがあるだろう。 ・ 立地条件によるが、公園内の飲食施設は儲からず、売店、レストランは自動販売機の収益を食いつぶしてしまう。
	獣舎、動物	・ ネーミングライツで獣舎一つ一つに名前を冠すると、みんなで応援してますという雰囲気が出ていいのでは。 ・ 夢見ヶ崎動物公園でなくてもある程度の大きさがあれば、ふれあい動物園は可能。種の保存をメインに考えるのであれば、ふれあいについては別な場所に作る方がよい。 ・ 獣舎ごとにネーミングライツとなると、園全体の場合よりもPRにはあまりならない。ただ、地元の企業が関心を持つ場合もある。ターゲットを市民団体や住民に近いところに置いてみるのも面白いかもしれない。 ・ 動物福祉の流れがあることを市民に伝えることが大事。トレンドは狭い空間にいっぱい動物がいる昔ながらの動物園ではない。いきいきとした動物が見られる、というのが来園者の求めているもの。いろんな良い動物園が増えて、来園者も目が肥えてきている。福祉を充実させることで、動物展示が見えづらくなるため、バランスが必要だと考える。 ・ 動物管理用カメラについて、少しでもアクセス数を稼げるレッサーパンダ舎の前などに置いて映像を公開するなど活用できる。 ・ 構造的に持つのであれば、太陽光パネルを獣舎の上に設置することも考えられる。 ・ 獣舎で集客するのは難しい。

項目		事業者からの主な意見
施設に関する意見	(仮称) パークセンター	・他の動物園では剥製などを用いて「学びのコア」となる空間を創出している。
	駐車場	・ウェブで予約可能な駐車場運営ができ、24時間365日対応可能。 ・観光バスの夜間駐車場として需要が多いのではないか。 ・駐車場から自動運転で園を回るような仕組みがあれば人寄せにはなるのではないか。 ・現在の駐車場収容台数が少ない。100台位のキャパシティは必要なのではないか。 ・近隣の駐車場と連携して、駐車台数を確保できるかもしれない。 ・駐車場は夜間需要は見込めず、収益化は難しい。 ・駐車場収容台数を増加する必要がある。